

◆実施日 令和6年8月2日、8日及び22日の3日間

◆参加事業者数 4社

ヒアリング内容 ※NR…ネーミングライツの略

ア 中央体育館等のNR事業の市場性について
<ul style="list-style-type: none">・地域貢献の一環として、町にゆかりのある企業であれば関心もあると想定できるが、一般的な体育施設のため、町外企業が参画する可能性は低い。・会社として費用対効果が重要となるため、投資コストを回収することができなければ投資は難しく、施設に名称が付与されることでどれだけのメリットがあるのか判断ができれば参画可能。
イ NR料の水準について
<ul style="list-style-type: none">・会社として実績がなく、水準が定まっていないため、原則、町が設定したNR料(100万円未満)でネーミングライツを実施するか検討したいが、100万円以上となると高額のため難しい。
ウ 施設の魅力向上や地域貢献・施設活性化につながる事業について
<ul style="list-style-type: none">・社名やブランド名を出すのではなく、地域貢献の一環として取り組みたい。・NR導入施設で通年事業として開催されるスポーツ大会等での飲食・物販の提供。・施設を用いて、地域住民を巻き込んだイベントのような取り組み。
エ 応募しやすい募集条件のアイデアについて
<ul style="list-style-type: none">・1番の応募条件はNR料となり、応募が先着順となることは本事業にはそぐわず、完全入札方式の方が応募しやすい。
オ NR事業に併せて、町に希望する条件や要望について
<ul style="list-style-type: none">・町民体育祭等の大会名に企業名称が用いられることや、施設の優先使用权等があればメリットとなる。・2025年は広陵町町制70周年となるため、連携した取組となれば参画しやすい。
カ その他、NR事業を進めていくための課題や配慮する事項について
<ul style="list-style-type: none">・NR導入施設のメディア露出度を掲示する等、NR導入により事業者が得られるメリットを記載する。 (例)単純に収益性だけでなく、認知度やCSRの向上等、参加者へのイメージ付与及び向上等。
その他 ヒアリング内容
<ul style="list-style-type: none">・施設へ看板等を設置できる場所や可否を調査する必要がある。・宣伝効果だけでなく、地域貢献の一環としての足がかりとして実施することが想定できる。